「新開発構造」×「デザインへのこだわり」

冴えわたる緻密なサウンド

冴えわたる音とデザインが
インナーイヤー型の先入観を鮮やかに刷新
ヘッドホンの未来と可能性を
『HA-FXD80』が果敢に切り開く

文／油納将志　撮影／松浦文生

JVC（ビクター）
HA-FXD80

価格：オープン　実勢価格：6980円

さらなる解像感と高遮音性を実現した新モデル

新開発のダイレクトトップマウント構造とカーボンナノチューブ素材の振動板を搭載したマイクロHDユニットを採用し、より迫力のある高解像度サウンドと高遮音性を実現したインナーイヤーヘッドホン。切削加工で作り上げたデザインが機能性と高級感を両立させる。

出力音圧レベル：102dB/mW　再生周波数帯域：8～25000Hz
最大入力：150mW　インピーダンス：20Ω　コード長：1.2m/Y型

ダイナミック型 | 口径 5.8mm | 重量 8.5g（コード含まず）

あらゆる面で進化した新たなる銘機が誕生

デュアルシリンダー構造とカーボン振動板搭載のマイクロHDユニット、トップマウント構造からなるビクター独自技術の粋を集めた『HA-FXC71』の発表から約2年。そのロングセラーモデルの思想を受け継ぎつつ、より発展させた『HA-FXD80』が満を持して登場する。

デュアルシリンダー構造は高剛性ステンレス素材を削り出し、高比重の真鍮製プラスリングを内蔵してさらに進化を遂げた。マイクロHDユニットには軽量で高剛性のカーボンナノチューブ振動板を採用し、音の瞬発力を高め繊細な表現が可能に。直径1μmの超極細ガラス繊維採用の、マイクログラス吸音材など用いたマルチポート構造によって、ユニット部の背圧を筐体内部にこもらせずに拡散し、力強い低音再生と臨場感豊かな表現力を実現している。音はもちろん、細部のこだわり、高級感漂うデザインは1万円クラスのモデルを凌駕するほど。またもロングセラーとなり得る銘機が誕生した。

HA-FXD80、意匠を凝らしたその造形

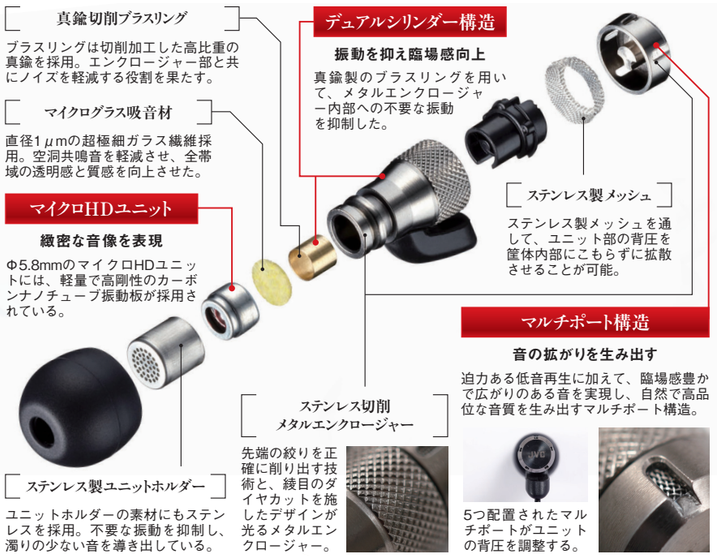
ステンレスのエンクロージャー部には綾目ダイヤカットデザインを採用。耳元をさりげなく主張。

不要な振動を抑制するこだわりの素材と技術

インパクトがあってハッキリした低音、真っ直ぐ伸びていく精細な中高音を再生するために不可欠なのが振動の抑制。そのためエンクロージャー部には高剛性ステンレス切削筐体を採用。こだわりの素材と技術が注がれている。

新開発構造、その数々

その1 | ダイレクトトップマウント構造



より高次元の解像感と遮音性を実現

ダイレクトトップマウント構造とは、形状や厚さを最適に調整したエンクロージャー先端にドライバーユニットを直接固定させたビクター独自の仕様。

通常より鼓膜に近い位置に振動板があるので、モニタスピーカーのようにクリアで迫力ある高解像度サウンドを再生可能。

従来方式と比較

従来方式ではユニット部が耳穴の入り口に位置している。

マイクロHDユニットが耳穴内に位置。音質、遮音性ともに向上。

その2 | マイクロHDユニット

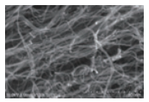
Q. 音はどう変わる？

Answer

★原音に忠実
★繊細な音表現
★ダイレクトで生々しい音像

鼓膜に近く位置することで、通常のヘッドホンにはない臨場感と高精細感を打ち出し、インナーイヤー型の先入観を覆す表現力を実現。

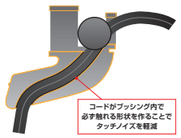
カーボンナノチューブ振動板を搭載



アルミニウムの半分の軽さ、かつ鋼鉄の20倍の強度を有する。

元素はダイヤモンド、黒鉛と同じ炭素のカーボンナノチューブは、従来の振動板と比較してさらに軽量化、高剛性を実現。固有振動数が高いため、音の反応が速く、緻密で繊細な音表現が可能に。

その3 | 制振フィットブッシング



ブッシング形状はコードが必ず触れることを計算して設計された。

制振フィットブッシングが耳の形状に沿って快適な装着感。

快適なフィット感と低いノイズを果たす

ブッシング内でコードが触れている部分を作り、弾性のある材質と共に直接耳まで到達するコードのこすれ音を軽減。同時に快適な装着感を実現した新開発の構造だ。

制振効果の高いゴム系素材を用いることで、装着時の安定感も向上している。

前モデル比30%減

同様の構造を持っている『HA-FXC71』と比較すると、タッチノイズを約30%以上も軽減。

Recommend!!

副編集長
石田がレコメンド
オーディオ担当歴5年以上になる本誌副編集長。好みのヘッドホンは、低音の表現力と中高域の解像感のバランスが取れたモデル。

高ビットレートでの再生がマストですね

まず本機を手にした時の質感から、デザインの作り込みに対する強いこだわりを感じます。ガンメタリックの硬質なカラーリングと、綾目ダイヤカットデザインに、男子はそのガジェット感に、女性はクールな雰囲気に惹かれると思います。

しっかりと耳の中に装着できるのは『HA-FXC71』譲りの特長ですが、音は別モノ。絶妙な量感の中低域と、晴れやかで伸びのある高域のバランスが良く、鮮やかで端整な音が聴こえてきます。ロックでもダンスミュージックでも、ジャズやクラシックでもジャンルを選ぶことなく、しっかりと鳴らし切ってくれます。クリアでパワーのある鳴りを持つモデルなので、高ビットレートもしくは非圧縮の音源で聴けばその実力を十二分に発揮します。是非とも高ビットレート、非圧縮の音源で聴くことをオススメします。そうすると、この『HA-FXD80』が1万5千円以上のクラスと比べても遜色のない音質だと気付くはずですから。

Close Up!

ダイナミック型 | 口径 5.8mm | 重量 5.3g（コード含まず） | スマートフォン対応

HA-FRD60

7月上旬発売
価格：オープン　実勢価格：4480円

コード部に接続コードが不要な切換スイッチ付きコントローラを搭載。スマホのハンズフリー通話や音楽などの再生操作が可能に。

ダイナミック型 | 口径 5.8mm | 重量 5.3g（コード含まず）

HA-FXD60

価格：オープン
実勢価格：3980円

カーボンナノチューブ振動板搭載マイクロHDユニット、ダイレクトトップマウント構造などを採用したスタンダードモデル。

ダイナミック型 | 口径 5.8mm | 重量 10g（コード含まず）

HA-FXD70

価格：オープン
実勢価格：4980円

『HA-FXD80』からデュアルシリンダー構造を割愛したミドルクラスモデル。クリアで引き締まった豊かなサウンドの印象は変わらない。

FXDシリーズ Line Up!